

1 タンジン

2 *Salvia Miltiorrhiza* Root

3 **SALVIAE MILTIORRHIZAE RADIX**

4 丹参

5 本品はタンジン *Salvia miltiorrhiza* Bunge (*Labiatae*)の
6 根である。

7 **生薬の性状** 本品はほぼ円柱形で、長さ5～25 cm、径0.3～
8 1.5 cm、やや湾曲し、しばしば側根を付ける。外面は赤褐
9 色、暗赤褐色又は黒褐色で、不規則な粗い縦じわがある。質
10 は堅いが、折れやすい。断面は緻密であるか又は粗く裂隙が
11 あり、皮部は灰黄白色又は赤褐色、木部は淡黄白色又は黒褐
12 色を呈する。

13 本品はわずかににおいがあり、味は初め甘く、後にわずかに
14 苦く渋い。

15 本品の横切片を鏡検〈5.01〉するとき、最外層は通常コルク
16 層で、まれにその外側に柔組織又は内皮がある。二次皮層
17 及び師部中に厚壁細胞が数個散在するか又は認められない。
18 形成層は明瞭である。二次木部の道管は放射方向に配列し、
19 しばしば中心部に向かって合一する。道管周囲に木部繊維が
20 認められる。一次木部は2～3部分に分かれる。縦切片では、
21 二次木部の道管は主に孔紋道管及び網紋道管である。

22 **確認試験** 本品の粉末1.0 gにジエチルエーテル10 mLを加え、
23 時々振り混ぜながら10分間放置した後、ろ過し、ろ液を水
24 浴上で蒸発乾固する。残留物に酢酸エチル1 mLを加えて試
25 料溶液とする。この液につき、薄層クロマトグラフィー
26 〈2.03〉により試験を行う。試料溶液10 μ Lを薄層クロマトグ
27 ラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットす
28 る。次にヘキサン/酢酸エチル混液(3:1)を展開溶媒として
29 約10 cm展開した後、薄層板を風乾するとき、*R_f*値0.4付近
30 に赤褐色のスポットを認める。

31 純度試験

32 (1) 重金属〈1.07〉 本品の粉末3.0 gをとり、第3法によ
33 り操作し、試験を行う。比較液には鉛標準液3.0 mLを加え
34 る(10 ppm以下)。

35 (2) ヒ素〈1.11〉 本品の粉末0.40 gをとり、第4法により
36 検液を調製し、試験を行う(5 ppm以下)。

37 **乾燥減量**〈5.01〉 16.0 %以下(6時間)。

38 **灰分**〈5.01〉 7.5 %以下。

39 **酸不溶性灰分**〈5.01〉 2.0 %以下。

40 **エキス含量**〈5.01〉 希エタノールエキス 42.0 %以上。

41 **貯法** 容器 密閉容器。

42